

[021] 言語文化論究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/5624>

出版情報：言語文化論究. 21, 2006-03-16. 九州大学大学院言語文化研究院
バージョン：
権利関係：

個人研究業績一覧

(2004年11月～2005年10月)

言語科学部門 言語教育学講座

井上 奈良彦

【著書】

- －「大学英語教育改革の内情」『国際化時代の大学英語教育－現状の足枷と新たな可能性』(九州大学大学院言語文化研究院言語文化叢書XVI), pp.87-115. 2005年3月。(津田晶子、中野美香との共著)

【その他】

- －「議論文化育む『議論学』」『朝日新聞』西日本版夕刊, p.10. 2005年7月8日。(新聞記事)

松村 瑞子

【論文】

- －「日本語のジェンダー表現と話法」『言語と文化のジェンダー』(九州大学大学院言語文化研究院言語文化叢書XV), pp. 20-29. 2005年3月.
- －「少女マンガの言葉遣い－重層的内面表現の手段としての表現形式」『漫画研究への扉』(梓書房), pp. 111-32. 2005年9月.

【その他】

- －「従属節中のアスペクト」英語語法文法学会第13回大会 (於関西学院大学), 2005年10月。(口頭発表)

山村 ひろみ

【論文】

- －「futuro と pretérito perfecto simple /pretérito imperfectoの関係－機能的対比の観点から－」, *HISPANICA* 48 (日本イスペインヤ学会), pp.31-47. 2004年12月.
- －「職業名詞に見る「男」と「女」の表され方－日本語とスペイン語の対比から」, 『言語と文化のジェンダー』(九州大学大学院言語文化研究院言語文化叢書XV), pp.85-106. 2005年2月.
- －「インタビューにおけるpretérito perfecto simpleとpretérito imperfectoの交替－質疑応答に見られるデータを中心にして－」, 『スペイン語学研究』20 (東京スペイン語学研究会), pp.123-144. 2005年8月.

【その他】

- －「文献論評 García Fernández, L. & B.Bruno Camus, *El pretérito imperfecto*, Madrid: Gredos, 2004」, 関西スペイン語学研究会, (於大阪産業大学梅田サテライト), 2004年12月。(口頭発表)
- －『クラウン西和辞典』2005年2月。(辞書・共著)

Kasjan, Andreas

【その他】

- －“Wortschatzarbeit mit Hilfe von Rollenspielen im Deutschunterricht für Japaner.” 第13回国際ドイツ語教育者学会（於グラーツ大学，オーストリア）2005年8月。（口頭発表）
- －“Übersetzungen im bilingualen Spracherwerb und im Fremdsprachenunterricht.” 第31回JALT年次国際大会（於静岡グランシップ国際会議場）2005年10月。（口頭発表）

曹美庚

【その他】

- －「Mental Spaces 理論と「又」」韓国言語文化教育学会2005年国際学術大会（於西南学院大学），2005年7月。（口頭発表）

中村 嘉雄

【その他】

- －「HemingwayとHumanism」第51回九州アメリカ文学会大会（於九州大学），2005年5月。（口頭発表）

言語科学部門 言語情報学講座**田島 松二**

【論文】

- －「18世紀英語研究の現在を概観する」『英語青年』2005年4月号，pp. 17-19. 2005年3月.
- －“The Compound Gerund in 17th-Century English”, in *Papers on Scandinavian and Germanic Language and Culture, Published in Honour of Michael Barnes on his Sixty-Fifth Birthday 28 June 2005* (Odense: University Press of Southern Denmark), pp. 249-62. [= *NOWELE: North-Western European Language Evolution*, Vol. 46/47.] 2005年6月.
- －“Allow for”の新しい意味？『英語史研究会会報』第13号，pp. 16-18. 2005年6月.

【その他】

- －「18世紀英語の歴史・社会言語学的研究書誌（補訂版）」*The Kyushu Review* 第9号，pp. 83-111. 2004年11月。（書誌）
- －「書誌編纂のことなど」『九州大学附属図書館報「図書館情報」』Vol. 40, No. 2, pp. 23-24. 2004年11月。（随想）
- －「動名詞はいつ、どのように発達したか」中央大学英米文学会，2004年11月。（講演）
- －*The Kyushu Review* 第9号，123 pp., 2004年10月。（学術誌・編集発行）
- －『英語史研究会会報』第12号，30pp., 2004年12月；第13号，46pp., 2005年6月。（会報・編集発行）

恒吉 法海

【その他】

- －『ジャン・パウル中短編集1』九州大学出版会 551pp. 2005年9月。（翻訳）

江口 巧

【論文】

- －「丁寧さを導く方略としての You-Suppression」『ことばの標—平井昭徳君追悼論文集』（九州大学出版会），pp. 25-37. 2005年10月.

大津 隆広

【論文】

- －「関連性理論からみた発話行為」『言語科学』（九州大学）第40号, pp. 19-33. 2005年3月.
- －「会話の含意をめぐって～グライス、レビンソンと関連性理論」『ことばの標—平井昭徳君追悼論文集』（九州大学出版会），pp.39-53. 2005年10月.

【その他】

- －“Semantic Extension of ‘After All’: Concession and Justification” (The 9th International Pragmatics Conference, Italy) 2005年7月. (口頭発表)
- －「コミュニケーションにおける関連性理論の妥当性についての実証的研究」(平成14～16年度科学研究費補助金(基盤研究C(2))研究成果報告書、課題番号14510529) 77pp. 2005年3月.

鈴木 右文

【論文】

- －「英語受講者が望む仮想空間での対話タスクの分析」『英語英文学論叢』（九州大学）No.55, pp. 81-93. 2005年2月.
- －「オンライン英語学習による国際コミュニケーション能力の向上策」『言語文化論究』（九州大学）No.20, pp. 55-66. 2005年2月.

【その他】

- －「九州大学におけるサイバー・ユニバーシティの取組み」(岡野進と共同) 情報文化学会九州支部研究発表会(於九州大学六本松地区), 2004年12月. (口頭発表)
- －「3次元仮想空間チャットシステムを使用した文字ベースの英語対話授業」九州大学e-Learningシンポジウム－ITを活用した実践的教育への取組み－(於九州大学医学部百年講堂), 2005年3月. (ポスター発表)
- －「コンピュータによる英語教育」日本科学者会議福岡支部研究発表会(於九州大学西新プラザ), 2005年7月. (口頭発表)
- －「田子内健介・足立公也著『右方移動と焦点化』」『英語学モノグラフシリーズ』11『英語青年』第151巻5号, pp. 51, 2005年8月. (書評)

田中 俊也

【その他】

- －『ゲルマン語動詞体系成立に関する非ブルークマンのモデルからの研究(課題番号14510624)平成14年度～平成16年度科学研究費報告書(基盤研究(C)(2))研究成果報告書』, xv + 335 pp. 2005年3月.

- “A New Historical and Comparative Approach to Old English Preterite-Present Verbs”, 250pp. A PhD Thesis, The Department of Linguistics and the English Language, Faculty of Humanities, The University of Manchester March 2005. (博士学位論文)
- 「九州大学の新たなカリキュラムについて」、平成17年度国立七大学外国語教育連絡協議会合同シンポジウム (於九州大学馬出キャンパス)、シンポジウム報告、2005年10月。(口頭発表)

吉村 治郎

【論文】

- 「屈辱と尊厳性」『ブッカー・リーダー』(開文社), pp.315-329. 2005年5月

【その他】

- 「ロレンスの自然観にみる思想的意味」日本英文学会九州支部第58回大会 (於長崎大学), 2005年10月 (口頭発表)

文化情報学部門 メディア文化情報学講座

阿尾 安泰

【論文】

- 「フランスの漫画事情」『漫画研究への扉』(梓書院), pp.155-74. 2005年9月.

津村 正樹

【その他】

- 「トーマス・ブラッシュ著 『父より先に息子が死ぬ』より」『東ドイツ文学』第7号 (イルムの会—東ドイツ文学会), pp.61-78. 2005年8月。(翻訳)
- 「トーマス・アンツ編『クリスタ・ヴォルフが問題なのではない』より」『東ドイツ文学』第7号 (イルムの会—東ドイツ文学会), pp.121-139. 2005年8月。(翻訳)

徳見 道夫

【論文】

- 「シェイクスピア作品における家父長制再考」『英語英文学論叢』(九州大学), 第55集, pp.17-31.

谷口 秀子

【論文】

- 「アニメと「グローバル化」— 『ソニックX』の世界観 —」『言語科学』(九州大学), 第40号, pp. 35-45, 2005年2月.
- 「子どもの本とジェンダー」『言語と文化におけるジェンダー』(九州大学大学院言語文化研究院言語文化叢書XV), pp. 1-19, 2005年3月.

福元 圭太

【その他】

- －「シンポジウム：トーマス・マン『魔の山』の「内」と「外」－新たな解釈の試み－
2005年度日本独文学会・秋季研究発表会（於同志社大学），2005年10月。（シンポジウム司会）

文化情報学部門 比較言語文化学講座

小谷 耕二

【論文】

- －「アレン・テイトの『父たち』と南部」『英語青年』第150巻8号，pp. 12-14. 2004年11月.

Wolfgang MICHEL

【論文】

- －“Schamberger, Caspar, Chirurg, Handelsmann, Japanreisender”. Neue Deutsche Biographie, hrsg. von der Historischen Kommission bei der Bayerischen Akademie der Wissenschaften, Berlin: Duncker & Humblot, Vol. 22, pp. 556-557.
- －『中津市歴史民俗博物館 分館村上医家史料館蔵の薬箱及びランビキについて』（中津市歴史民俗博物館分館村上医家史料館資料叢書4）（中津市），2005年3月。（編集責任者、遠藤次郎・中村輝子との共著）
- －『村上玄水資料（3）』（中津市歴史民俗博物館分館村上医家史料館資料叢書）（中津市）2005年3月。（編集責任者、朝稲香子・大島明秀・吉田洋一との共著）
- －“Western Medicine and Pharmaceutics in Seventeenth Century Japan”. Proceedings of the Tenth International Conference on the History of Science in East Asia (Shanghai Jiao Tong University Press), pp. 173-184. July 2005.
- －“Far Eastern Medicine in Seventeenth and Early Eighteenth Century Germany”. 『言語文化論究』No. 20（九州大学），pp. 67-82, 2005年3月.
- －「ヨーロッパの珍品陳列室から見た市岡家の標本コレクション」『江戸時代の好奇心：信州飯田・市岡家の本草学と多彩な教養』（飯田市美術博物館編、飯田市），pp. 82-85, 2004年9月.
- －“Drop by Drop - The Introduction of Western Distillation Techniques into Seventeenth-Century Japan” 『日本医史学雑誌』Vol.50, No.4, pp. 463-492, 2004年12月（Elke Werger-Kleinとの共著）

【その他】

- －「コレクションと学問の近代化－木村兼葭堂の位置づけについて」日本医史学会関西支部2005年秋季大会（於大阪市立大学），2005年11月。（口頭発表）
- －「近接と遠隔－17世紀の日本を見たドイツ人について」『日本におけるドイツ年』（於福岡西部ガスホール），2005年11月。（公開講演）
- －「江戸時代に開催された薬品会の時代的な特徴」日本薬史学会，2005年会，（於札幌市教育文化会館），2005年10月。（口頭発表、今井勇介、遠藤次郎、中村輝子との共同発表）

- －「モノの収集と製造－地方における近代化について」『江戸のモノづくり国際シンポジウムin木祖村』（於木祖村・村民センター），2005年8月。（基調講演）
- －“Western Distillation Techniques and Euro-Japanese Botanical Interactions in 17th Century Japan”. 11th International Conference on the History of Science in East Asia, 15th - 20th August 2005 (Munich).（口頭発表）
- －「日本のモノづくりを若者につなぐ」『モノづくりの東西』シンポジウム（於飯田市地場産業センター），2005年7月。（口頭発表）
- －「エンゲルベルト・ケンペルの「Simabara ki」について」洋学史研究会（於青山学院大学），2005年7月。（口頭発表）
- －「北條家（佐渡市）の薬箱の検討」日本医史学会第106回学術大会特別シンポジウム II（於北里大学），2005年6月。（口頭発表、遠藤次郎、中村輝子との共同発表）
- －「明治期の医療器械商－大阪の白井松之助について」日本医史学会第106回学術大会特別シンポジウム II（於北里大学），2005年6月。（口頭発表、中村輝子、遠藤次郎との共同発表）
- －『『朋百舎密書』の原典著者と日本の化学への影響』2005年度化学史研究発表会（於神戸大学），2005年6月。（口頭発表、芝哲夫との共同発表）
- －「明治期の医科器械製造販売業について－大阪を中心に」日本医史学会関西支部春期大会（於京大会館），2005年6月。（口頭発表）
- －「シーボルトの日本観－日本のシーボルト観」（於クロス福岡），2005年2月。（九州大学附属図書館・福岡県立図書館主催の公開講演）
- －「大坂蘭の背景」「大阪の蘭学史－その1」日本医史学会関西支部平成16年度大会（於関西市立大学），2004年12月。（口頭発表）
- －「蘭方医事が来た道－17、18世紀を中心に」日本医史学会関西支部平成16年度大会（於関西市立大学），2004年12月（特別講演）
- －「16・17世紀の日本における西洋医学」全北大学校・九州大学2004年国際学術大会（於九州大学），2004年12月。（口頭発表）
- －「異国趣味と強国戦略－17世紀半ば頃のVOC資料に見られる「珍品」について」洋学史学会平成16年度大会（於青山学院大学），2004年12月。（口頭発表）
- －「万物の魅力－信州飯田の「市岡家コレクション」とその位置づけについて」2004年度日本科学史学会生物学史分科会・総会・シンポジウム『遺された「モノ」に語る医学史・生物学史のフロンティア』（於東京大学），2004年12月。（口頭発表）
- －『『ユリアム相伝』成立時の日蘭学術交流』シンポジウム『蘭学の来た道』（於武雄市文化会館），2004年10月。（口頭発表）
- －「江戸時代輸入薬品と国産化の試み」日本薬史学会平成16年度年会（於東京大学），2004年10月。（口頭発表、大代純也、中村輝子、遠藤次郎との共同発表）
- －「医薬学者アンドレアス・クライアーによる日本の薬品研究について」日本薬史学会平成16年度年会（於東京大学），2004年10月。（口頭発表、中村輝子、遠藤次郎との共同発表）
- －「ヨーロッパの珍品陳列室から見た市岡家の標本コレクション」シンポジウム『江戸時代の好奇心－市岡家を通して－』（於飯田市美術博物館），2004年10月。（口頭発表）

- "Edo no Monozukuri" - An Interim Report. International ENJAC (European Network of Japanese Art Collections) Conference, Prague (9 Sept 2004). (口頭発表)

阿部 吉雄

【論文】

- －「上海のセファルディ系ユダヤ人」『言語文化論究』（九州大学）No.20, pp.41-53. 2005年2月.

【その他】

- －「上海のユダヤ人難民」日本現代中国学会西日本支部「現代中国講座」2004年12月例会（於九州大学），2004年12月。（口頭発表）

高橋 勤

【論文】

- －「奴隷解放運動と『ウォールデン』－「より高い法則」をめぐって」『英語英文学論叢』第55集（九州大学），pp. 33-46. 2005年2月.

【その他】

- －科学研究費補助金（基盤研究(C)(2)）研究成果報告書「南北戦争前における奴隷解放運動とコンコードの文学」57pp.
- －“Ethics of Natural Disaster: Tanaka Shozo and Ashio Mine Poisoning,” The Third International Conference on Ecological Discourse, Tamkang University, Taiwan, May 27, 2005. (口頭発表、招聘)
- －「野生の詩学—詩人としてのソロー」現代英米詩学会（於福岡女子大学），2005年6月。（口頭発表）
- －“Toxic Discourse in Red: Communism and Environmental Literature in Japan.” The 6th Biennial Conference of the Association for the Study of Literature and Environment, University of Oregon, June 2005. (口頭発表)
- －「ジョン・ブラウンとコンコード」科学研究費補助金研究報告会（於青学会館），2005年7月。（口頭発表）

中里見 敬

【その他】

- －「ミシガン大学の中国研究：その研究者養成のしくみ」『アジア研究情報Gateway』（東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター），2004年12月。（解説）

李 一 清

【論文】

- －“Development Strategies and Unemployment Policies in Korea”, *Transforming the Developmental Welfare State in East Asia* (Palgrave Macmillan, New York and Basingstoke), pp.143-169. 2005.

- “Asia from the Korean Perspective: Korean Narratives of Asia”, *Asia in Malaysia Forum, Kertas Berkala* (Occasional Papers) (Centre for Civilisational Dialogue, University of Malaya, Kuala Lumpur, Malaysia), pp.8-13, May 2005.
- “Formulation of Confucianism in the Social Welfare System in East Asia”, *Khata, the Official Journal of the Centre for Civilisational Dialogue* (Centre for Civilisational Dialogue, University of Malaya, Kuala Lumpur, Malaysia), pp.40-66, Vol.1, No. 1, September 2005.
- “Social Dialogue in Mongolia : Time To Deliver” *Workshop Paper on Social Dialogue in Mongolia* (Ministry of Labour and Social Welfare of Mongolia, International Labour Organization, Confederation of Mongolian Trade Unions, Ulaanbaatar, Mongolia), pp.1-66, October 2005.

【その他】

- “Trapped in Uncoordinated Policies: Migrant Workers in Korea” 2005/2006 Workshop Series, 21st Century COE Programme: Research Centre on Public Affairs for Sustainable Welfare Society, Chiba University(University of Hong Kong, Hong Kong) May 2005. (口頭発表)
- “Development of Social Dialogue in Transitional Economy: The Case of Mongolia” 『未来を育てる国際協力』(於九州大学) October 2005. (講演、公開講座)
- “Reading Confucius and Asian Value” 2nd Workshop of Mugunghwa Centre for Korean Culture and Arts, Kuala Lumpur, Malaysia (Mugunghwa Centre for Korean Culture and Arts, Kuala Lumpur, Malaysia) September 2005. (講演)

秋吉 收

【論文】

- “台湾の魯迅”頼和にみる大陸新文学の影響 『中国文学評論』第30号, pp.1-18. 2005年5月.

【その他】

- 劉登翰著「香港文学の文化的地位－香港文学の本土性、中国性そして世界性に関して」 『境外の文化-環太平洋圏の華人文学』(汲古書院), pp.415-431. 2004年12月. (翻訳)
- “台湾の魯迅”頼和にみる大陸新文学の影響 日本現代中国学会西日本支部2005年度春季大会 (於西南学院大学), 2005年4月. (口頭発表)